

〈座談会〉

67年の

出席者

小野 光男

鈴木 繁

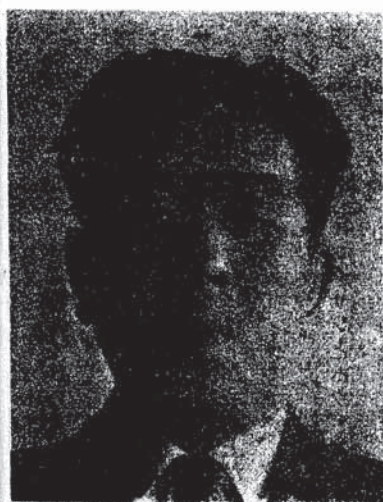
吉田 彰

近藤 俊輔

浜田 学

藤田 明徳

— 本会ハンデキャッパー —



鈴木 氏

小野 関西馬についていえば、サトヒカルは

皐月賞四着、ダービーが四着、菊花賞が五

着、そしてダービー後の毎日盃に勝ち、菊

花賞の前京都盃ではリユウズキに勝ってい

るので、関西の一番馬として58が妥当と思

う。次いでシバフジで、NHKが二着、

ダービーは三着、菊花賞は馬群にもまれて

出るに出不れずの八着だったが、ハリウッ

ドターフクラブ賞の日本レコード勝ちなど

からいって57はあると思う。それから、こ

れは関西馬ではないが、フィニイが菊花賞

に故障で出られないまま、関西に居残って

京都記念と阪神大賞典を連覇しているの

で、格とすればサトヒカルと同列に考えて

いいと思うが、鈴木さんどうです。

鈴木 いいですね。

近藤 アサデンコウは故障しなければという

ことがあるが、やはり59ですか。

鈴木 たしかにダービーは大きいけど、そん

なところではないか。

と落ちて、向こう正面など14-14のアラブ

なみのペースとなってしまう。そのため

三コーナーにかけてしまったのダンゴにな

ってしまい、レースのアヤが大きく勝敗に

作用したようなところもある。

鈴木 シバフジなど馬群につつまれて、抜け

るに抜けられずえらい苦労をしていた。そ

して上りだけの競馬になってしまったのだ

が、ニットエイトはいい位置にいた。

小野 ニットエイトはあと回しにしよう。

藤田 シバフジが57なら、菊花賞三着、古馬

に入って有馬記念でも三着に善戦したムネ

ヒサが57だ。短波賞でもフィニイに勝って

いるしね。

一同 異議なし。

藤田 ダービー二着のヤマニンカップをどう

みるかだ。

浜 現在では少なくとも1キロは下だ。

鈴木 ダービーのあとよくなっていない。ダ

ービーが最高の出来だった。明らかにムネ

ヒサが上だ。

吉田 ヤマニンカップはいまはまったくの不

振だね。正月の金盃では53キロまで落した

がそれでも惨敗だった。しかしフリーハン

デではダービーの二着を買う。それでもせ

いぜい56だ。

浜 タフネス、ヤマピットがこのあたりか

……。

小野 ヤマピットは桜花賞前の特別に勝ち、

桜花賞は絶対視されていたのに、例の馬丁

ストの影響で惨敗した。しかし、オークス

は見事優勝し、その勝時計はダービーより

もよく、前評判のよかったことを実証した。

菊花賞はペースメーカーに終わったが、東

西を通じて牝馬の一番馬として56。

鈴木 小さいけれどバネがよいし……。す

るとニットエイトは男馬だから58か。

浜 57ぐらいではないか。セントライトがモ

ンタサンの二着だったが、ハリウッドが五

着、菊花賞後のクモハタでも惨敗だ。

鈴木 その線からいけばヤマピットは55だ。

小野 タフネスは抽せん馬ながら、ダービー

フリーハンデ

四歳

首位はシンボリ



小野氏

小野 従来、このフリーハンデは東西で別々に出してきた。ところが、一昨年、編集部から注文があり、同じ中央の馬を別々に出しているのも妙なものだから、統一してくれないかとの話があった。もっともなことだと思ったが、そのときは、いろいろ都合もあり、東西のハンデキャッパーが顔を会わすことができなかったが、ことは早くから準備したのでこうして集まることになった。それで、これからはじめて東西一本のフリーハンデをつくらうというわけだが、その前に基本的な態度をきめたいと思う。

吉田 これは一九六七年度のフリーハンデであるのだから、年間を通じて活躍した馬ということになる。四歳の場合は五大クラシック、古馬なら天皇賞と有馬記念が中心ということになる。

鈴木 そういうことだ。それに関連する重賞競走が加味されるのは当然だが……。

小野 そのなかでも春は四歳の場合はダービーが中心で、秋は菊花賞が中心になる。ダービーの着順はアサデンコウ、ヤマニンカツプ、シバフジ、サトヒカル、リュウズギ

で、菊花賞は馬場が悪くてニットエイトに勝たれリュウズギが二着だった。菊花賞はレースのフヤもあり、有望とみられた馬で惨敗した馬も多いが、リュウズギは敗れはしたが善戦した。そのうえリュウズギは皐月賞に優勝している。

吉田 年間を通じれば、やはりダービーには負けているがリュウズギだ。ダービーのウエイトはたしかに大きい、アサデンコウはその後は故障で走っていない。

鈴木 アサデンコウはリュウズギより一枚下におくべきだ。

浜 具体的に58か59か。

小野 関西のトップウエイトはサトヒカルの58で、それに比較するとリュウズギは60だ。

吉田 われわれはトップのリュウズギを59ぐらいに考えていたが、60でもよい。

近藤 一昨年の四歳の頭だったナスノコトブキは59だったが……。

鈴木 あの年までは東西別々に出していたので、同列に論じれば、少々おかしいところもあった。ことははじめに一緒にしたのだから、前年までのものにあまり拘わらなくてもよいのではないか。まア私がダービーをみた印象からいえば、リュウズギは惚れ惚れするような立派な馬だ。ダービーのタイトルだけで少なくとも59にはランクしなればならない。リュウズギの貫禄なら60は当然と思う。

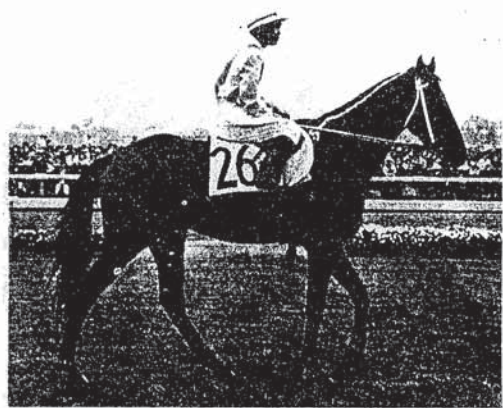
吉田 皐月賞に優勝、ダービーは五着でも、菊花賞が二着、どっちも頭と考えていたが60でいいだろう。

近藤 ダービー馬のアサデンコウがリュウズギと同じでもよいのではないか。実際にはリュウズギが強いかもしれないが、ダービーの勝利は大きい。

鈴木 菊花賞のとき、関西のナンバーワン、サトヒカルとリュウズギを比較してみたが、ストライド一つにしてもまるで違う。

小野 そのサトヒカルを58とすればリュウズギはやはり60だ。

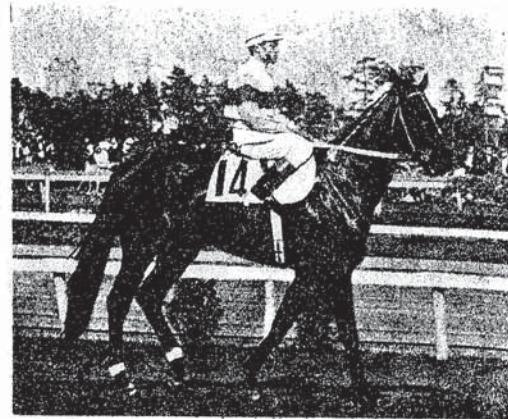
鈴木 そう頭が決まるとあとは楽だ。



・サ ト ヒ カ ル



・ア サ デ ン コ ウ



・リ ユ ウ ズ キ

が七着、そして小倉記念、朝日チャレンジカップの二つの重賞に勝っている。同様の成績をあげたのがクリバツクで金鯱賞と小倉大賞典に勝っているが、これはシーズンはじめで、まだ他馬が仕上がっていないといふことも考えなければならぬ。この両馬にくらべれば、ヤマビツトが一枚上だ。つまりヤマビツトが56で、タフネス、クリバツクが55だ。

浜 55あたりならモンタサンとホウゲツオーが問題になる。

藤田 菊花賞四着のナカイチが、その後、条件レースではあるが、長距離ステークスに勝って成長をみせている。

吉田 ナカイチは強くなっている。おおざっぱにいうとモンタサン、タフネス、クリバツク、ホウゲツオーらは同程度だ。

小野 タフネスはスプリングステークスの二着もあり、その点クリバツクより上のようにだが、実力的には全く拮抗している。1キロ軽い方が必ず勝つ。

吉田 タフネスも活躍したが、タフネスならやはりモンタサンが上だね。

藤田 セントライト記念にも勝っているし、春もあれだけ評判になった馬だから……。ヤマニンカッパ、ヤマビツトの線かどうか。

吉田 いいね。

浜 ホウゲツオーも前半だけの馬だが四歳ステークスに勝っているし、クラシック戦線を賑わした馬だ。

藤田 前半の活躍馬といえばタイギヨウもいるが……。

鈴木 ダービー後はガタガタで、先般勝つには勝ったが条件レースだった。

吉田 アラジンについても同様のことがいえる。NHK盃優勝があるがあとはダメだ。

小野 NHKだけでも55の価値はある。忘れていたがアトラスとイメージモアーがいた。

イメージはシンザン記念、毎日盃二着、京都盃が三着、菊花賞六着という上位の成績だ。

鈴木 あの馬は道悪がヘタなのだが、出走す



吉 田 氏

るたびにどういふものか雨になる。実力はサトヒカルと大して差はないと思うが……。

小野 アトラスはタフネス、クリバツクが活躍していたときは、明らかに下馬だった。

しかし小倉大賞典を勝ったあと、オーブンで戦うだけの実力がついて来た。春には京都の四歳特別に勝っている……。こう考えてみると、クリバツク、タフネスよりイメージ、アトラスの方が上ではないかな。

鈴木 私もそう思う。タフネス、クリバツクは他の馬が出て来ないとき稼いだ馬だからね。

小野 それではイメージモアーとアトラスを55、タフネス、クリバツクを54としよう。

吉田 すると55は東ではアラジン、ホウゲツオー、西はイメージにアトラス……。

小野 54がナカイチ、タイギヨウ、タフネスそれにクリバツク。

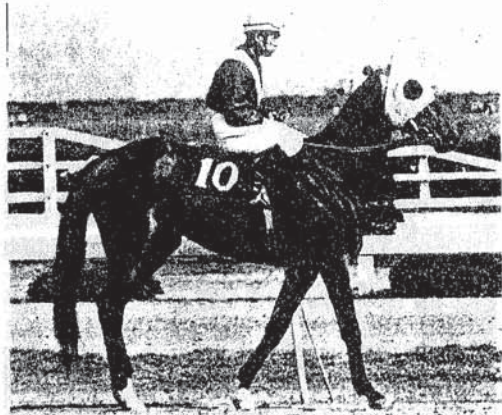
藤田 ニウオンワードがそのクラスだ。

近藤 さて、そこでニツトエイトだが、ダービー、菊花賞のバランスからいっても58の方がいいと思うが……。

鈴木 競馬のハンデではなく、これは一種の名誉ハンデだからな。

小野 ムネヒサは有馬記念でも三着だ。ニツトの菊花賞は道悪と展開に恵まれたの感なきにしもあらずだ。

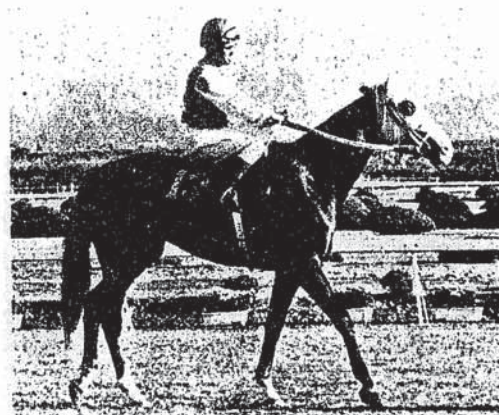
吉田 菊花賞は同じ五大クラシックでもダービーに次ぐウエイトにある。重賞尊重の思想からも58にするか。



・スピードシンボリ



・フイニイ



・ニツトエイト

古馬

むずかしいカブトの評価

小野 さて今度は古馬だが……。これはスピードシンボリで文句のないところだが、63か64か。

浜 前年のコレヒデが64だった。

鈴木 そのコレヒデをどうみるかだ。

藤田 戦績としてはダイヤモンドステークス一つしかない。その点では60か61程度か。

鈴木 前年のコレヒデが64ならシンボリも64で文句のないところだろう。それにアメリカでの健闘もあるしね。

小野 あれは特別大書してよい。

吉田 コレヒデは有馬記念前、非常に上昇していて、この調子なら有馬記念二連覇なるのではないかと見ていたが、足もとに不安が出て出走しなかったのは惜しまれる。

浜 カブトシローは春の天皇賞ではスピードシンボリに頭の二着、秋は天皇賞、有馬記念を連覇、しかも有馬記念は圧勝でしたからね。シンボリに次ぐ。

近藤 ことしのコレヒデには実績がない。

小野 両馬をならべて61にしては……。西の馬ではキーストンがいる。夏の札幌からカムバックしてオープンから阪神開設60周年まで四連勝した。そして阪神大賞典では、名馬の最期というにふさわしい劇的な死に方をしたが、ダービー・ウイナーが再びそれらしく立直ったという印象を誰にも抱かせた。私はこのキーストンが61ならヤマニリュウ、リュウフアアロスが59とみている。

鈴木 カブトシローとコレヒデとの差はいくらがいいか……。

吉田 私はスピードシンボリにくらべて3キロとみる。そうするとカブトとキーストンがならぶのだが、コレヒデはカブトより実力的に上ではないか。

小野 キーストンとコレヒデは同じでよいが、はたしてカブトが両馬と同じでよいか。

むずかしいところだ。

浜 カブトシローは別定重量である天皇賞、有馬記念に勝ち、春の天皇賞、ダイヤモンドが二着、東京盃、目黒記念、オータムが三着。この活躍度からしてスピードシンボリのすぐ下にもって来てよい。カブト63、リュウフアアロス、ヤマニリュウ61と考えたが……。

吉田 天皇賞、有馬記念のカブトシローとリュウフアアロスらと2キロの差は当然だ。

藤田 コレヒデはダイヤモンドでカブトシローに勝っているがこれ一つだ。

鈴木 有馬記念はテレビで見ていたが、まるつきりレースにならなかった。

近藤 いろいろ意見が出たが、カブトシローは二番手で62キロ。そして61キロがキーストンとコレヒデ。

小野 コレヒデは有馬記念に出られなかったが、その前の下馬評からいって、やはり当然実力馬ではあった。キーストンとともに61キロはいいが、カブト62はどうか。

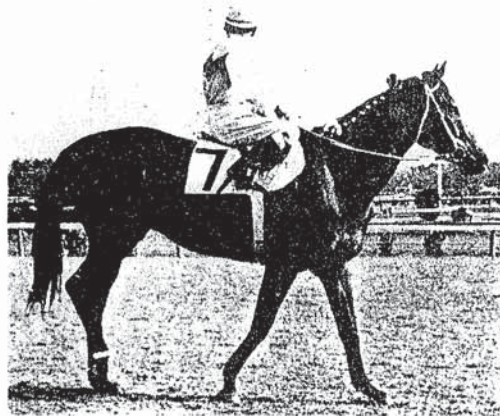
藤田 カブトシローは前年のコレヒデとよく似ている。春はどうしても勝てなかったが秋になって著しい充実をみせた。ただそれ以前の評価が低いのが62と思う。

小野 ヤマニリュウのクラスを59とすると関東に60キロの馬はいないか。

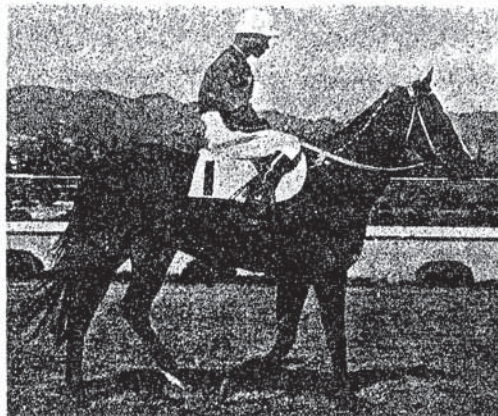
吉田 常に重量を背負って活躍したヒシマサヒデ、いるとすればこの馬だ。オンワードヒルも強いが、ヒシマサにくらべると一枚

近藤氏





・コレヒデ



・キーストン



・カプトシロー

下だ。

近藤 オンワードヒルはヤマニリュウと同じクラスが適当と思う。

小野 関西にゴールデンパスというのがいるが、北海道から四連勝して京阪盃ではネイチブランナーに負けて二着だった。もっともこのときは3キロの差があったので、まづは立派な成績だ。その後、また休んでしまっているが、ヤマニリュウのクラスと思う。アポオンワード、タイヨウはその下だ。近藤 リコウがアルゼンチンとステイヤールの二つに勝っているの58にならぶのではないか。

小野 ネイチブはどうだろう。天皇賞二着のウエイトは大きいのではないか。

浜 ネイチブも福島からの馬で、後半の活躍は注目されたが、有馬記念の敗戦のマイナスでその下の57。そのクラスにはニホンピローエースが入るのではないか。

小野 ニホンピローも入るが、それと同格のタイクラナもいる。

藤田 安田記念優勝のブツシヤンが前半はよかったが、後半がやや不振で57。

鈴木 その下が、こちらの馬ではエブソムか。中京で自動車をもらい、スワンステークスをとって地方に行ってしまったが……。

小野 シバハヤも同クラスだな。もっともこの馬は二着専門で勝鞍がない。

吉田 シェスキイ、ハマテツソが56といったところだろう。それとヒシヤクシン。

浜 ヒシヤクシンは福島からの馬で、それ以前はあまり目立っていない。

吉田 リコウが58なら2キロ下の56は妥当な線だ。

藤田 目黒記念のメジロサンマンはここか、その下あたりか。

浜 メジロサンマンは目黒記念は53キロだった。あのときアポオンワード、オンワード

ヒルが59だからやはり55ではないか。

吉田 シェスキイよりは下だろうな。そこにくるとまだ他にもいる。

小野 牝馬では東のタマクイン、西のキヨズ



浜氏

キが活躍している。そこらへ入る力があるのではないか。

浜 キヨズキ、タマクインはよい。

三歳

ダイオーは別格

吉田 三歳の焦点はキタノダイオーだと思ふ。ここに来る前に、われわれ関東の者だけで話合ったのだが、これをどう扱うかを関西の方に相談したい。

鈴木 あれだけ話題になった馬だ——当然のせるべきだと思う。

小野 キタノダイオーは、いわば幻の馬のような存在だが、無論、当然それなりの評価をすべきだ。

吉田 ことしのダービーは七月だし、直接聞いたわけではないが、経過もよいらしい。

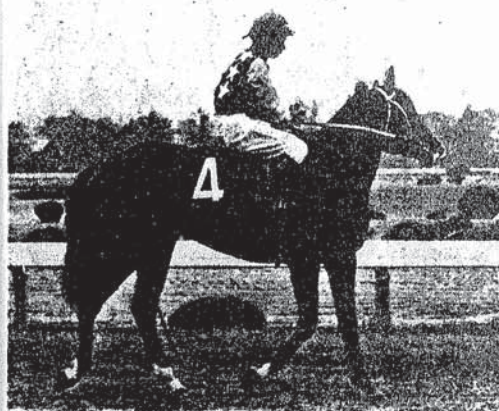
鈴木 若い馬だけに回復しはじめれば案外早いからな。

吉田 それは別としてキタノダイオーを何キロとするかな。私は56キロ。

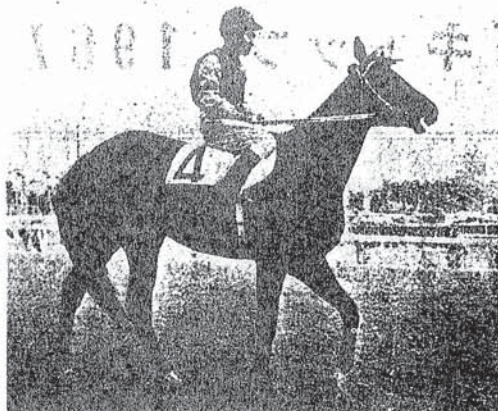
浜 私は57までもってゆきたい。あの強さはまったく抜群のものだ。

鈴木 あれを見たら、ちよっとケンカにならないと思う。あの雄大な馬格であのスピードが出る。

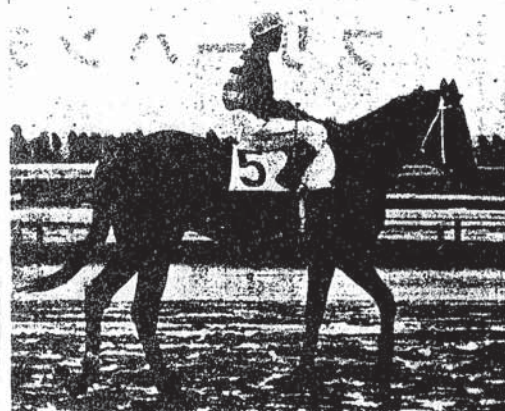
小野 キタノダイオーを57とすれば、マーチ



・マーチス



・タケシバオー



・キタノダイオー



藤田氏

スは55だが、マーチスとタケシバオーに差をつけるべきかどうか。

近藤 北海道三歳ステークスをどう評価するかも問題だと思う。いまは昔と違って馬数が多くなり、よい馬は前のように早くから使わずにゆっくりにおろしてくる。それだけに朝日盃のウエイトが重くなる。

浜 前年の例でいえば、北海道三歳ステークスはリュウズキ、朝日盃はモンタサンだが、キタノダイオーはまた別だ。

吉田 東西の代表レース、朝日盃と阪神三歳ステークスは同格とみるべきだ。その意味でマーチスが55ならタケシバオーも55だ。

小野 三歳はレース数も少なく、力の評価もほとんど変えてゆかなければならない。それで一応暮れの時点で評価するが、キタノダイオーはその後がないのだから、北海道の時点で考えるしかなく、そのかぎりでは誰がみても抜群だ。

鈴木 とにかくキタノは別格、マーチスとタケシバオーを同格として話を進めよう。

浜 タケシバが55なら、こちらでその次にくるのはヤマトダケの54だ。

小野 関西にはヤマニシユンとタニノハローモアがマーチスの次にくる。タニノハローモアは紅葉盃、野路菊賞などに勝ち、最後の阪神三歳では四着。ヤマニシユンは京都のステークスではマーチスに勝っている。

一応、マーチスはきめ手の阪神三歳ステークスで1キロ増だが、この三馬に大きな力

の差はないと思っている。そして牝馬の大將格であるファインローズが53。

藤田 関東で54のクラスとなるとアサカオーとステートターフがいる。

浜 タケシバオーとの比較では53がいいところではないか。

鈴木 三歳はまだレース数が少ないし、それにまだ一、二回しか走っていない馬が多いので、あまり厳密に考えることはないのではないか。

小野 アシヤアベも後半頭角を現わしてきた馬だ。52のクラスになると条件特別に勝ったホンタカがいるし、新馬からデイリー盃を勝った二連勝のコウユウもいる。コウユウなどは牝馬ではファインローズより素質はあるだろう。

吉田 どうしても、いい馬は取っておくようになるので三歳はむずかしい。

藤田 アサカオー、ステートターフを54とすれば53はカドマス、カプトニツポンといったところか。

近藤 三歳については将来性ということもあるが、なかなかそれをつかむのがむずかしい。それで三歳は三歳として活躍した馬、どれだけ勝ち、どれだけ稼いだかを重視する。それに将来性が加味されれば申し分ないが……。

浜 関東では実績からいうと牝馬が活躍している。

小野 西でも賞金額からいえば牝馬のファインローズが第一で、第二がタニノハローモア、三歳ステークスのマーチスは三番目だ。

鈴木 牝馬は仕上りが早いからどうしても三歳はじめの成績はよい。

吉田 マーチスとタケシバオーを55に一致させるのはよいが、下の方にくると、どこへどれをはめこんでいいのかわずかしいね。

小野 三歳はやはり東西を一緒に出すのは無理のようだ。関東は関東、関西は関西で、いまの線に基づいて別個にやろうじゃないか。

吉田 やはり別々に出そう。

フリーハンデキャップ 1967

3		歳		4		歳		古		馬	
関		西		関		東		馬		名	
馬	名	重	量	馬	名	重	量	馬	名	重	量
マ	ー	チ	ス	55	キ	タ	ノ	ダ	イ	オ	ー
タ	ニ	ノ	ハ	ロー	モ	ア	54	タ	ケ	シ	バ
ヤ	マ	ニ	シ	ユ	ン	54	ア	サ	カ	オ	ー
ア	シ	ヤ	ア	ペ	ベ	53	ス	テ	ー	タ	ー
*フ	ア	イ	ン	ロー	ズ	53	*ヤ	マ	ト	ダ	ケ
ク	リ	カ	シ	ワ	52	*ウ	メ	ノ	オ	ー	カン
*コ	ウ	ユ	ウ	52	カ	ド	マ	ス	53		
ダイ	ヨ	ン	ハ	マイ	サ	ミ	52	バ	ン	ナ	ー
ト	ツ	プ	オ	ー	52	*ア	テ	ナ	52		
ホ	シ	タ	カ	52	ア	マ	ノ	ガ	ワ	52	
ミ	ユ	キ	ハ	イ	ネ	ス	52	カ	ブ	ト	ニ
リ	ユ	ウ	バ	ブル	ス	52	ク	リ	セ	カ	イ
ア	ミ	ダ	ー	ル	51	コ	マ	カ	ブ	ト	52
オ	ー	ロ	ラ	51	*ホ	ー	ス	ジ	ヨ	ー	52
*ト	ー	ホ	ウ	ク	イ	ン	51	ウ	メ	フ	ク
ミ	ツ	キ	ー	メ	イ	ジ	51	オ	ン	ワ	ー
*ア	ヤ	ヒ	ビ	キ	50	シ	ヨ	ウ	ザ	ン	オ
*ア	ン	ダ	ス	タ	ー	50	ス	イ	フ	ト	ラ
イ	チ	バ	ン	カ	ン	50	*ス	ズ	ガ	ー	ベ
*ゼ	ツ	ト	ス	タ	ー	50	ス	ズ	ノ	ツ	バ
ト	ー	ワ	ヤ	ス	シ	50	タ	ジ	マ	オ	ー
*パ	ー	ル	ム	ー	ン	50	*ナ	ス	ノ	ウ	タ
*ミ	ス	マ	ル	ミ	チ	50	*マ	ル	シ	ゲ	51
*ヤ	マ	ニ	エ	ン	50						
ヨ	ウ	テ	イ	ザ	ン	50					

*印は牝馬